

ごみ情報誌に掲載する「市民会議メッセージ」について

1. 市民会議メッセージ

3市連携し、更なる可燃ごみの減量を！

3市共同可燃ごみ処理施設が、令和2年4月から本格稼働しました。ごみ処理の広域化は、コストの削減等のメリットがある反面、施設周辺の皆様には、焼却量の増加、運搬車両の増加等の影響もあり、ご負担をお掛けしています。この施設の共同利用には、施設周辺皆様のご理解・ご協力があって成り立っております。

私たち3市ごみ減量推進市民会議（以下「市民会議」という。）は、3市の市民を代表し、施設周辺の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

令和2年から国内で深刻化した新型コロナウイルスの波状的な感染拡大により、市民生活にも大きな影響が及んだため、廃棄量は増加していますが、今年度第3四半期までの一人1日当りの排出量は、前年比僅かながら減少し、3市の皆様には、ご理解とご協力を頂いていることに感謝申し上げますとともに、改めてお願い申し上げます。

「3市の皆様、施設周辺の皆様のご負担を少しでも軽減するため、更なる可燃ごみの減量に努めましょう。」

市民会議は、2050年までに3市の焼却ごみをゼロに近づけることを目的とし、引き続き、市民目線でごみ減量施策及び施設稼働状況等の3市の皆様への情報提供について、行政にさまざまな提案を行ってまいります。

2. 市民会議の説明（参考）

3市市民会議は、平成30年4月20日付「3市ごみ減量推進市民会議設置に関する協議書」に基づき、平成30年7月24日に設置されました。以来、3市の市民がごみの減量や情報発信等についての検討や意見交換等を続けています。